

◎合併5年目を迎えて

問 合併時先送りしてきた残り9件の各種事務事業をどのように整理推進していくか。

答 20年度末、未調整の8事務事業（都市計画税・上水道料金・学校給食方式の統一、都市宣言、木・花・鳥の制定、緑の基本計画、河川整備計画、通学区域の検討）は今年度中に調整終了予定。残るイメージソングは、市歌の普及を優先し、その後を考えていきたい。

◎介護保険料

問 県下一高い介護保険料は政策的に回避できたのではないか。

答 国の強い指導もあり保険料軽減は難しいと判断した。今後は政策的引き下げを選択せざるを得ない状況が来ると憂慮している。

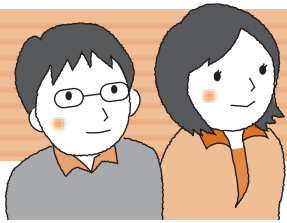
◎自主運行バスの経路

問 午前は病院、午後は買い物と言った無理な運行再編計画案では利用者をさらに減少させ問題ではないか。

答 利用者を増やすよう最大限の努力をする。運行変更地域には説明を行う予定。ルートやダイヤについては、6ヶ月ごとの実証実験の中で検証していきたい。



運行見直しがされる自主運行バス



市政に対する一般質問

よりよいまちづくりをめざして

◎合併の検証をすべきではないか

問 浅羽地域では、合併による弊害を口にする人が多い。人の和、地域の和を大切にしたい市政運営であつたか。

答 窓口業務の時間延長、浅羽中体育館の建て替え、グリーンウエーブキャンペンなどを実施し、メロープラザ建設、協働まちづくり事業などを推進している。

問 八万七千人余の地方小都市である市政の考え方は。

答 市民の顔が見え、共生・協働のまちづくりに適した規模と考える。施設整備の方向はコンパクト化が求められ、自然や歴史などの地域資源を磨くことも大切と考える。

問 総合計画の後期基本計画作成にあたり、合併の検証をすべきではないか。

答 前期の総括をするとともに、新たな情勢の変化や市民ニーズを的確に把握していきたい。



平成17年に行われた合併協定調印式